

事業番号	15 03 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	高等学校学びの支援事業費				部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課・高校再編推進室
					実施期間	S27 ~	E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標								
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり			2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			

1 現状と課題

・国内外の大きな社会変動による先行きの不透明な時代を生き抜くためには、自ら問題を発見し、答えを生み出し、新たな価値を創造していくための資質・能力が必要であるという背景のもと、学習指導要領改訂、高大接続改革により、高等学校教育の転換が求められている。また、全国的に少子化が進行しており、長野県においても同様の傾向が見られ、今後も長期的に子どもの減少は続く見通しである。

・授業や日常生活に支障のある帰国子女や外国籍の要支援生徒に対しては、専門性の高い知識を有した外部人材等による適切な支援が必要とされている。

2 事業目的

・長野県の高校教育として多様な学びの場と学びの仕組みを用意し、全ての高校がこれからの時代に必要とされる新たな学びに転換することによって、全ての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現を目指す。また、新たな学びを支える環境づくりを推進し、各校の規模や特色を生かして、活力の維持と学びの質の向上を図る。

・要支援生徒が在籍する場合において、校内相談、支援体制を構築・拡充し、授業や日常生活へのより速やかな適応を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①生活支援相談員配置	
外国籍生徒や帰国子女が、高等学校における授業及び日常生活に速やかに適応できるよう生活支援相談員を配置。	
②施設改修	
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの洋式化に加え、老朽化した建具・機械設備の改修を実施。 ・県立高校体育館の水銀灯等をLED照明に切り替え。 	
③修学支援	
定時制及び通信制で学ぶ生徒に対して、適切な学習環境を提供するため、教科書補助等による修学支援を実施。	
④高等学校再編	
統合新校ごとの「新校再編実施計画懇話会」の開催等。	

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	日本語支援生徒のアンケート満足度「助かっている。」回答率	%	91.8	90.5	↘	91.7	↗	92	未達成	例年と同内容の支援を行うため、R2、R3以上の満足度を目標値に設定。	
②	県立高校トイレ洋式化率	%	42.2	46.2	↗	52	↗	52.3	未達成	R8までの整備計画の中で各年度の洋式化率を設定。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	2,448,041	706,961	27,290	3,182,292	1,425,026	1,388,039	19.2
R3年度	1,728,540	1,393,638	2,199,884	5,322,062	1,482,389	2,768,972	19.2
R2年度	0	4,763,057	1,735,402	6,498,459	1,789,306	4,742,147	19.2

事業番号	15 03 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	高等学校学びの支援事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課・高校再編推進室

6 主な取組実績と成果

①生活支援相談員配置

生活支援相談員を34名配置することで、外国籍生徒や帰国子女が高等学校における授業及び日常生活に速やかに適応できるよう支援し、結果として多くの対象生徒から好評を得ることができた。

②施設改修

以下の取り組みにより、生徒の学習環境を改善することができた。

- ・トイレの洋式化71部屋に加え、老朽化した建具・機械設備の改修を実施。
- ・体育館の水銀灯等をLED照明に切り替えた（令和4年度63校実施）。

③修学支援

以下の取り組みにより、定時制課程及び通信制課程の生徒の学習環境を整備することができた。

- ・県立高校2校において定時制課程運営にかかる設備整備を実施した。（令和4年度整備校数 2校）
- ・定時制課程及び通信制課程に修学する生徒のうち、一定の要件を満たしている生徒に対し教科書購入費を補助（令和4年度定時制16校、通信制2校実施）。

④高等学校再編

統合新校ごとの「再編実施基本計画」を地域と協働して検討するため、「新校再編実施計画懇話会」を34回開催し、進捗状況に応じて、目指す学校像、教育方針、校地・施設・設備、教育内容等について議論を深めることができた。議論の詳細については下記を参照。また、統合新校において、「学習空間デザイン」や「ZEB化」等を実現するため、専門家が関与する仕組みにより、施設整備基本計画策定業務を実施した。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/koko/gakko/saihen/joho/manabinokaikaku.html#jisshikeikakukonwakai>

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	日本語支援生徒のアンケート満足度「助かっている。」回答率	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
目標値は達成できなかったが、日本語の習得のみならず、学習を中心とした学校生活に関する相談、教員と生徒のコミュニケーション支援、学校と保護者との意思疎通等の高校生活に必要な支援の実施により、昨年度の水準を上回り、ほぼ目標値に近い水準となった。							
指標②	県立高校トイレ洋式化率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
71部屋のトイレを洋式化し、洋式化率は52%と未達成であったが、生徒の要望を踏まえ、臭い対策や老朽化した建具・機械設備の改修を実施できた。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・日常生活に支障のある要支援生徒、定時制生徒、通信制生徒に対し、安心して高校生活を送るための支援を実施しているが、生徒一人ひとりの事情に応じたきめ細やかな支援が求められている。
- ・「再編・整備計画」により、統合新校ごとに「新校再編実施計画懇話会」を開催し、進捗状況に応じた議論を進めてきた。また、再編に伴う施設整備についても、探究的な学びのための学習空間デザインや省エネ等の観点を取り入れた「施設整備基本計画」の策定に取り組んできた。今後については、引き続きこれまでの取り組みを継続するとともに、令和5年度以降「施設整備基本計画」を策定した高校について、設計業務等に取り組む必要がある。
- ・県立高校の学習環境・生活環境の改善については計画的に実施しているものの、生徒が安心して快適な高校生活を過ごすことができるよう、老朽化対策、トイレの環境改善、実習・実験用設備等の整備・更新が引き続き必要である。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・要支援生徒等に対する支援を継続して行っていく。支援が必要となる外国籍生徒や帰国子女は依然多く、言語も多様化しているため、生活支援相談員の配置等を充実させることで生徒の学校生活への適応の支援に取り組む。また、合理的配慮が必要となる生徒等について、個別の事情に応じた支援を進めることで校内支援体制の充実を図る。
- ・統合新校について、高校ごとの進捗状況に応じて、引き続き「新校再編実施計画懇話会」を開催し、開校に向けた準備を進めていく。また、「再編実施基本計画」を策定した高校については、「施設整備基本計画」の策定に取り組む。さらに「施設整備基本計画」を策定した高校については、委託により設計業務等に取り組む。
- ・学習・生活環境の改善に取り組んでいく。トイレの環境改善等については、生徒の要望を踏まえ、和便器の洋式化に加え、床の乾式化、衛生器具の更新等についても実施する。また、理科教育及び産業教育に係る設備等についても引き続き更新を実施する。

事業番号	15 03 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	高等学校学びの支援事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課・高校再編推進室

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	3,352 千円	3,045 千円	3,054 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	直接	外国籍生徒や帰国子女が、高等学校における授業及び日常生活に速やかに適応できるよう生活支援相談員を配置 生活支援相談員等従事時間数 1,018時間	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	経常運営費	4,082,317 千円	832,428 千円	1,006,432 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県立高校学習環境改善事業	直接	県立高校における和便器の洋式化及び老朽化した建具や機械設備の更新（「15か月予算」として令和3年度1月補正予算と一体的に実施） 整備部屋数 71部屋	
2	県立学校体育館照明交換事業	直接	県立高校体育館の水銀灯をLED照明に切り替え 統合新校ごとの「新校再編実施計画懇話会」の開催	
3	県立高校再編実施計画検討事業		懇話会開催回数 34回	
4	聴覚障がいのある生徒を支援する遠隔パソコン文字通訳システム活用事業	直接	遠隔パソコン文字通訳システムを活用し、聴覚に障がいのある生徒の学習を支援 要約筆記延べ時間数 149時間	
5	高等学校ZEB・デザイン基本計画策定事業	直接	県立高校の施設整備において、「学習空間デザイン」や「ZEB化」等を実現するため、専門家が関与する仕組みにより、施設整備基本計画策定業務を実施した。 実施校数 2校（小諸新校・伊那新校）	
6	県立学校感染症対策事業	直接	県立高校及び附属中学校における感染症拡大防止のための保健衛生用品等を購入（「15か月予算」として令和3年度1月補正予算と一体的に実施） すべての県立高校及び附属中学校において購入	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	定時制課程運営費	3,811 千円	3,438 千円	3,736 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	消耗品費、備品購入費	直接	定時制課程運営にかかる消耗品の購入及び設備整備 整備校数 2校	
2	定時制課程教科書購入費補助事業	直接	夜間定時制課程に修学している生徒を支援するため、対象となる生徒に対し、教科書購入費を補助 補助校数 16校	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	通信教育運営費	1,246 千円	614 千円	441 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	通信制生徒子弟託児事業	直接	幼い子どもを養育しながら通信制で学ぶ生徒が、スクーリングの際に子どもを託児して勉学に精励できるよう保育士を配置 保育士の配置 2校4名	
2	通信制課程教科書購入費補助事業	直接	通信制課程に在籍する生徒のうち、一定の要件を満たす生徒へ教科書等購入費を補助 補助校数 2校	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	高等学校理科教育設備・産業教育設備整備事業費	296,499 千円	1,795,904 千円	270,650 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	理科教育設備整備	直接	理科教育のための実験・実習設備を整備 生物顕微鏡など39校で整備、分光光度計を1校で更新	
2	産業教育設備整備	直接	産業教育のための実験・実習設備の整備、電子計算組織等のリース・運用 トラクター、田植え機など16品目を11校で更新	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	特色ある学科設置事業費	124,638 千円	103,177 千円	94,749 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特色学科設置	直接	外部講師謝金、費用弁償、運営システムリース、外部実習委託 設置数 13校10学科	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	高等学校施設整備事業費	182,372 千円	8,504 千円	8,977 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	高等学校施設整備事業費	直接	非構造部材耐震点検 実施校数 12校	
2	県立学校施設整備基金積立	直接	利息積立 積立額 1千円	